



# <京北FBL> 2013・2014

## 集落エリアにおける新たな居住のデザイン

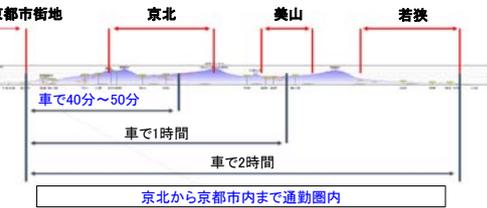
### 京都市右京区・京北地区

#### Designing Contemporary Residence in Rural Areas — Keihoku, Kyoto

実施責任者: 神吉紀世子<sup>1</sup>、十河卓司<sup>2</sup>  
 実施協力者: NPO法人京北コミュニティビジネス、京都府立ゼミナールハウス、  
 京北自治振興会、京北森林組合 ほか  
 参加者: [2013年度後期] 市村賢士郎<sup>3</sup>、藤田弥世<sup>3</sup>、小山実苗<sup>1</sup>、堀友彌<sup>4</sup>  
 [2014年度後期] 阿部将和<sup>4</sup>、加登遼<sup>1</sup>、藤野正寛<sup>3</sup>

- 1: 京都大学大学院工学研究科建築学専攻
- 2: 京都大学デザイン学ユニット
- 3: 京都大学大学院教育学研究科
- 4: 京都大学大学院情報学研究所

### 京北と京都: 西の鯖街道における京北



### なぜ移住者が必要なのか

#### —京北の現状—

- ・過疎化  
 ...人口が京北町発足時の約半分(10,582→5,738)
- ・少子高齢化  
 ...0-19歳が13.6%  
 60歳以上が46.5%
- ・人材の流出  
 ...20歳代・39歳代が一番少ない(7.2%+7.6%)  
 →高校卒業と共に地域外へ移出  
 ...20,243haのうち47%が人工林
- ・森林や田畑の維持  
 ...京都市内へのアクセス(ストロー効果の危険性)



### なぜ移住者が必要なのか

#### —地元住民の思い—

共通しているのは「ふるさとを残したい」という思い

- 具体的なビジョンは不明確
- 自分の手の届く範囲は変わらないという思い
- 「手の届く範囲」の定義は人によってさまざま
- ex) 田畑・農産物・山・材木・家・学校・川

「何を」「どこまで変えても良いのか」は、実際に移住者とのインタラクションの中で住民が気付くこと

**多角的な視点から、様々な移住者を呼び込む必要性**

### 移住者獲得のための提案

#### —従来の方法—

- 移住者の誰もが言うのが、「ご縁があって...」
  - 知り合いのつて
  - 飛び込みでカモノソログ
  - どこかのタイミングで京北の人が絡む
- 移住者のセレクションをするのであれば、京北の人は必ず関与する必要がある
- 誰が移住者セレクションを行うのか？  
 情報はクローズのままでよいのか？



### 移住者獲得のための提案

#### —地域連携の重要性—

- ・新しい土地に来る人にとって、不安はとても大きい
- 「ソーシャルサポート」の重要性
- 地域への順応やサポート方法は個人差があるため、ガイドラインを作成したりすることは無理
- ただし、ちやほやしすぎて人によっては×...「見守る」姿勢を大事に(参考: 異文化への順応は神経レベル→行動レベルで平均2.4年)
- ・個々人でプレーするのではなく、行政も含めた京北全体で移住者獲得の意識を共有し、全体的に行動することで、地域住民間での葛藤の発生を防ぐ
- 集散的無知の撤廃
- 目標は... ×「移住者獲得」  
 ○「京北という故郷を守る」
- ただし、先導者は必要

### 移住者獲得のための提案

#### —具体策、暮らし体験—

- ・意義
  - 実際に京北で生活することで、京北に住めるかを判断してもらう
  - ・必要なもの
  - 空き家、家財道具(どの程度まで用意するかは要相談)
  - ※ハード面は基本的に無償提供、生活費は実費
  - ・期間
  - 体験希望者との相談により決定
  - ・対象
  - 田舎への移住を検討している人
  - ・体験中にできること
  - 必要なら住みやすい仕事相談&あつせん・京北の見どころ紹介
  - 体験者全員に地元住民との懇親会
  - 井本さんと河原林さんのイベントへの参加
- 体験希望者がどの程度負担する必要があるかは事前に相談する必要がある  
**相談窓口は1か所に絞る**

### 移住者獲得のための提案

#### —具体策、京北体験—

- ・意義
- 京北の雰囲気を感じただけでも感じてもらう、どちらかというと旅好きの人向け
- ・形態
- とほ宿 (<http://www.toho.net/>) 仕様
- ・男女別相部屋で部屋を有効活用、低価格、コミュニケーション重視
- ・場所
- 駐車場付きの空き家
- できればアスファルト地面で屋根付き
- ・対象
- 旅人
- ・メリット
- リピーター率がかなり高い
- コミュニケーションを前提としている宿なので移住への勧誘もしやすい

### 移住者受け入れ活動の位置付け

新規移住者の方の視点から京北の可能性を探る

#### ①新規移住者の分類⇒ターゲットをどこに絞る？

目的	子どもなし	子どもあり
居住	会社員、主婦など	
居住+生業	共有財産*不要	アーティストなど
	共有財産*必要	農家、林業家など

\* 共有財産: 田畑、山、土地、etc.

#### ②「テンションの高い」人たちに集まってもらいたい

⇒ターゲット: 京都市内在住+子どものいる家族

### FBL主催 2015取り組み案: 1泊2日のロゲイニング

- 1日目: 学びの時間
- ・地図の読みかた・コンパスの使い方・時速計算
  - どうやって回る？何で移動する？所用時間は？
  - ・京北にいる動植物の話
  - 何が食べれる？どんな匂いがする？どこに潜んでる？
  - 何が落ちてる？
  - ・戦略のたて方
  - ・地元の子どもたちにも参加してもらいたい！
  - ・晩御飯は京北の野菜。素材を活かした料理。
- 2日目: いざ出発！
- ・知らない間に「今この瞬間」を楽しむ
  - ・知らない間に京北の良さを感じる
  - ・お弁当は京北の野菜。素材を活かした料理

### 得点①: 場所の写真



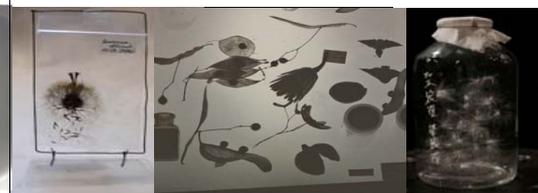
京北の良さを写真に閉じ込めてもらいます  
 ⇒距離・高度・難易度が得点化

### 得点②動植物の写真



目的だけではなく道中に目を向けて欲しい  
 ⇒レア度が得点化(熊は0点)

### それ以上: 宝ものさがし



得点なんて関係ない！落ちてるのは宝もの！  
 ⇒もう得点のことは忘れちゃって欲しい！

### アフターパーティー: フォトコンテスト

- フォトコンテスト in ウッディー京北
- ・ロゲイニング参加者の写真を活用
- ・開催時期(大会: 初夏→コンテスト: 秋)

- 目的
- ・もう一度京北にきて欲しい
  - ・京北の良い所がどんどん集まる
  - ・京北の人々に京北の良さを知って欲しい

### アフターパーティー: 宝箱づくり



ベースとなるものの質の高さとセンスの良さ  
 ⇒北山杉の活用

### アフターパーティー: 宝箱づくり



⇒京北の体験が宝物に閉じ込められる